

# いかなる場合にも組合・組合員の機能を止めない!

## 組合事業継続計画(BCP)策定の取り組み

甲府市管工事協同組合(齊藤鉄也理事長 組合員52社)では、市民のライフラインを守るという重責を担っている組合員と組合の事業支援を目的に、事業継続計画(BCP)策定の講習会を組合執行部を対象に9月7日に実施した。



事業承継・事業継続アドバイザー  
佐藤雅信氏

生活に欠かすことができない水の供給が災害により止まってしまった場合、組合と組合員は甲府市との「災害応急復旧工事等に関する業務協定」に基づき、復旧のために人材の確保、資材の供給と工事にいち早く取り組まなければならない。一方、大規模災害発生の場合には、組

合員事業所でも直接的被害により業務遂行ができない可能性もあり、市民の生活インフラを最先端で支える業種として、組合と組合員が災害時の事業の復旧方法をあらかじめ決めておくことが必要であるとして、BCP策定の検討をはじめた。

また、今回のBCP策定は災害への対応策だけではなく、組合員が事業継続を行っていくための経営力の強化も目指しており、事業承継・事業継続アドバイザーの佐藤雅信氏により、事業継続に必要な経営資源や業務について洗い出しを行う「事業の棚卸」を中心に計画策定の具体的な手順を中心に学んだ。

齊藤理事長は「災害発生の場合、組合では組合員の協力のもとで、復旧作業に取り組むことになるが、上下水道工事は地中での作業もあるため二次被害の危険性も高い。今回の事業継続計画は、

●甲府市管工事協同組合

TOPICS



講習会終了後も多くの質問や討議がされた

二次被害を防ぐことで、組合員各社がかけがえのない人材を守りながら事業や経営をどのように守っていくのかを考える重要なきっかけとなった。組合のBCP基本計画をもとに全組合員や関連団体にも普及を図り、業界全体のBCP普及につなげていきたい。」と語ってくれた。

BCP策定に関するご質問・ご相談は、中央会連携組織課まで。